

令和 7 年度 春季入学 (秋季募集)

熊本県立大学大学院 文学研究科英語英米文学専攻

博士前期課程

一般選抜入学試験問題 専門科目

(Question Sheets for Applicants to the Master Course at the Division of English Language & Literature, Autumn 2024)

注意事項

・試験開始及び終了は、監督者の時計が基準です。監督者の指示に従ってください。

(The proctors work as timekeepers. Follow their directions.)

・試験開始後は 40 分を経過しなければ退室できません。また、試験終了 10 分前から退室できません。

(You may not leave the room until forty minutes have passed from the beginning of the examination. You also may not leave the room during the last ten minutes.)

・試験開始の合図があるまで、問題冊子を開いて中を見てはいけません。

(Do not read the questions before the proctors start the examination.)

・解答用紙への受験番号などの記入は試験開始の合図があってから始めてください。

(Do not write your name or number before the proctors start the examination.)

・問題用紙は、pp. 1-6 まであります。

(The questions are on pages 1-6.)

・解答用紙は 4 枚あります。解答用紙の全てに、受験番号、氏名を記入してください。

(You have four answer sheets. Write your name and number on every sheet.)

・解答スペースが不足する場合は、裏に続けて書いてください。

(If there is not enough space on your answer sheets, you can continue to write on the back.)

・問題冊子は持ち帰ってください。

(Take your question sheets home after the examination.)

・答案回収時に解答用紙を提出しない場合、本科目は採点されません。

(If you do not submit your answer sheets when the proctors gather them, you will receive no score for this examination.)

・問題 III、問題 IV は、出願時に英語検定試験のスコア証明書を提出し、受理された者は解答する必要はありません。該当者は、規定時間になれば、試験監督者の指示に従って退出してください。

(Applicants who submitted their certificates of English tests (e.g. TOEFL, TOEIC, IELTS) do not have to answer Questions III and IV. When the appointed time limit comes, those applicants should leave the room following the proctors' directions.)

(このページは空白です)

(このページは空白です)

I. 次の 10 項目の中から 5 項目を選択し、その番号と項目名を記入し、それぞれについて日本語で簡潔に説明しなさい。

1. CALL
2. CLIL
3. Communicative Language Teaching
4. Task-based Language Teaching
5. Extensive reading
6. Fluency
7. Focus on Form
8. Recast
9. Intrinsic motivation
10. Working memory

II. 次の英文を読んで、設問に答えなさい。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(From Merrill Swain. "Three Functions of Output in Second Language Learning." In *Principle & Practice in Applied Linguistics: Studies in Honour of H. G. Widdowson*. Edited by Guy Cook and Barbara Seidlhofer. Oxford University Press. 1995. pp. 129–130.)

- 設問 1. Schmidt and Frota (1986) が提案した下線部①を本文に即して日本語で説明しなさい。
- 設問 2. 下線部②を日本語に訳しなさい。
- 設問 3. 下線部③において、Swain and Lapkin (1994)がどのような目的で研究を行なったか、本文に即して日本語で説明しなさい。
- 設問 4. 下線部④の内容を本文に即して日本語で説明しなさい。
- 設問 5. 下線部⑤に基づいた筆者の主張を、本文に即して英語で答えなさい。

*問題 III、問題 IV は、出願時に英語検定試験のスコア証明書を提出し、受理された者は解答する必要はありません。該当者は、規定時間になれば、試験監督者の指示に従って退出してください。

III 次の英文を読んで、設問に解答しなさい。

Read the following passage and answer the questions.

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(From Mike Goldsmith. *Sound: A Very Short Introduction*. Oxford University Press, 2015, pp. 2–4.)

設問 1. 下線部 a) は何を言おうとしているのか、本文に即して日本語で説明しなさい。

設問 2. 下線部 b) と同じ意味の単語を、以下の選択肢から選びなさい。

(A) beckoned (B) considering (C) including (D) replacing

設問 3. 下線部 c) を、日本語に訳しなさい。

設問 4. 下線部 d) に入るのにふさわしい単語は何か、以下の選択肢から選びなさい。

(A) consequently (B) nonetheless (C) otherwise (D) thereby

設問 5. 下線部 e) の結果として、どのような現象が引き起こされるのか。本文の内容に即して、日本語で説明しなさい。

IV 次の日本語を英語に訳しなさい。

著作権保護の観点から、問題文は掲載していません。

(鳥飼玖美子。『話すための英語力』。講談社、2017年。p.18。)